

# 金沢大学法学類月報

第 34 号 2016 年 9 月 25 日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会  
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



法学類月報第 34 号をお届けします。本号から、授業や演習などを通じて法学類生もお世話になっている法務研究科の先生のご紹介のほか、法学類の先生のエッセイをお届けいたします。また、法学類とテレビ金沢の合同企画に参加した学生の寄稿、公認サークル「金沢法友会」の活動報告をお送りします。



## ◆新連載◆ 教員エッセイ 第 1 回 宮本誠子先生（法務研究科・民法）

専攻は民法で、相続を主な研究テーマとしています。相続は、家族間での財産の引継ぎであり、家族の問題と財産の問題の双方を扱うため、複雑なテーマですが、それゆえにこそそのやりがいも感じています。

この仕事を選んだのは成り行きでしたが、人と社会の問題にはずっと関心がありました。人は、他人を「あの人はこんなタイプ」などと単純化してとらえることが多いように思いますが、実際には、人はかなり多様で複雑です。例えば、人の性についても、男と女の 2 通りと理解することは誤りです。性には、カラダの性（男・女）、ココロの性（男・女）、スキな対象の性（男・女・両方）の 3 種があり、これらの組み合わせは 12 通りで、さらにグラデーションもありえます。そうすると、社会は本来、人の性が 12 通り（以上）あることを前提に構築されなければなりません。現実には、2 通りであることを前提していることが多いように見受けられます。他の 10 通り（以上）に当たる方は約 5% のデータがあります。20 人に 1 人ということです。12 通り（以上）という複雑さから逃避し、2 通りと単純化することによって、差別などの問題が生じるようにも思われます。現代の社会においては、複雑なことを複雑なまま受け入れられる力が必要ではないかと思っています。



## 18 歳選挙権に関するテレビ取材企画に参加して

7 月の参議院選挙を前に、テレビ金沢から所属するサークルに「若者と選挙に関する取材」の協力依頼があり、私は 5 名のうちの一人として手を挙げました。

取材では、類似性と多様性を示す各党や候補者の公約・政策、「なるほど」と思わせる候

補者の演説会、意思の明示の重要性を突き付けられた韓国人留学生との討論などを通して、様々な意見を見聞きしました。それを踏まえ実際の投票に臨みましたが、それでも投票後には「選挙権の行使」と「1 票の重さ」など様々な思いが心中で入り混じりました。

選挙当日夜のテレビ出演では、制作の現場や大臣との対話に興奮した以上に、18・19歳の投票率が低かった（全国平均 45.45%）ことに衝撃を受けました。若者と投票の関係が連日のように報道されたにも関わらず、主権者教育が十分でないために、新有権者が選挙について理解が進んでいなかったのかなと思いました。

私は、生活と政治・政策の関連性は認識するも、政治参加は「まだ」縁遠い事柄と捉え

ていた「ふつう」の若者ですが、国益のための政治をする代議士を選ぶ選挙の重要性、納得がいく選択にはマスメディアや候補者、政党からの情報を受動的に得るだけでなく、能動的に自ら情報を入手する心がけと実践、継続する努力の必要性を痛感しました。この点を意識させてくれた今回の企画への参加は、今後の生活と政治との距離を考えるうえで大変貴重なものでした。

法学類1年生 森村匠



### 「法と教育学会」& 社会見学を企画して

「金沢法友会」で法教育の研究と実践の活動をしている学生12人とともに、「法と教育学会」（於：立教大学）に参加しました。

今回は、前日イベント（9月3日）として法教育に関心のある法科大学院生、大学生の意見交流会も行われ、学生は日頃の実践の成果と課題について、他大学の学生・院生と活発に情報を交換し、自分たちの実践が全国レベルで通用することを実感したようでした。学会当日（9月4日）は、学生が昨年実践した、契約と消費者保護に関わる法教育の成果を、私が発表しました。その他の発表とシンポジウムは、18歳選挙権や主権者教育に絡むものが多く、学類のゼミで現に取り組んでいる学生もいたので、得るものは大きかったようです。



翌5日は、東京証券取引所、最高裁、参議院を見学したほか、金沢大学東京事務所を訪問しました。観光旅行では訪れることのない場所を回ることで、見聞を広げることができたようです。

盛り沢山の3日間でしたが、このような日常を離れた体験を単に物見遊山で終わらせないためにも、普段の勉強やサークル活動への取組みを通じて感受性を高めておくとともに、今回の体験を日常にフィードバックすることで勉強やサークル活動をレベルアップさせることを願って止みません。

福本知行（法学類准教授・金沢法友会顧問）



法学類HP  
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に關係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
  - 關係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
  - 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
- また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 法・経済学務係 ([n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp))までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。